

2022年12月～2023年5月 MUレーダー・赤道大気レーダー共同利用課題一覧

研究番号	受付番号	申請代表者	所属	研究題目
L45	C04	重尚一	京大理	層状性降水域における固体降水粒子の観測
F46	G31	前川泰之	大阪電通大	衛星通信回線における降水雲の影響に関する研究
F47	G02	塩川和夫	名大宇地研	超高層大気イメージングシステムとMUレーダー・赤道大気レーダーによる超高層大気の協同観測
A48	G41	西村耕司	京大RISH	MSTレーダー逆散乱理論に基づく新しい観測・解析法の確立(低高度バイスタティック課題)
A49	G29	松田知也	京大RISH	MUレーダーを用いたMIMOレーダー技術の開発
A50	G28	橋口浩之	京大RISH	MUレーダー・LQ-7アダプティブクラッター抑圧システムの開発
A51	G44	下舞豊志	島根大	簡易型自作全天カメラを用いた信楽における対流圏内小規模波動の観測
A52	G39	矢吹正教	京大RISH	気温・水蒸気ラマンライダーの高度化技術に関する研究
A53	G40	Lagrosas Nofel	千葉大	連続運転カメラを用いた日本における夜間の雲量の定量化
A54	G15	吉原貴之	ENRI	航空機トランスポンダの受信信号から得られる風情報の補正手法の開発と利用
A55	G17	柴垣佳明	大阪電通大	MUレーダー・気象レーダーを用いた前線帯メソスケール擾乱の発達・組織化に関する研究
A56	G25	森修一	JAMSTEC	海大陸域における航空機ビッグデータ活用による高層気象観測手法の開発
A57	G05	中北英一	京大防災研	森林タワー観測に基づく森林流域における水循環の解明、およびリモセン技術による検証観測の実現可能性の検討
A58	G10	矢吹正教	京大RISH	リモートセンシングおよび直接計測を組み合わせた大気微量物観測システムの検証実験
A59	G45	高麗正史	東大理	高層気象観測(ラジオゾンデ観測)の学部実習
A60		本研究所事業		MUレーダーによる中層大気標準観測(GRATMAC)
B61	G34	阿部新助	日大	MUレーダーと木曾シュミット望遠鏡Tomo-e GOZENカメラを用いた超微光流星の同時観測
B62	G35	高崎宏之	京大宇宙	MUレーダーによる低軌道デブリと人工衛星の検出及び実用可能性の検証
B63	G46	小嶋浩嗣	京大RISH	MUレーダーによる小型衛星の捕捉に関する観測
B64	G43	齋藤享	ENRI	電離圏リアルタイム3次元トモグラフィーの検証及び改良
B65		本研究所事業		MUレーダーによる電離圏の標準観測
C66	G30	橋口浩之	京大RISH	EAR-RASS における実時間レイトレーシング及び風速補正手法の開発
C67	G38	Purwaningsih Anis	BRIN	コトタバンの MJO 中の対流活動の開始と水分収支を分析するためのシーロメーターの利用
C68	G18	柴垣佳明	大阪電通大	インドネシア海洋大陸における対流システムの階層構造に関する研究
C69	G07	阿保真	東京都立大学	ライダーによる赤道域対流圏・成層圏のエアロゾル動態モニタリング
C70	G01	柴田泰邦	東京都立大学	偏光ライダーを用いたインドネシア赤道上空における煙霧鉛直分布観測
C71	G20	橋口浩之	京大RISH	熱帯対流圏における大気不安定微細構造の観測的研究
C72	G03	橋口浩之	京大RISH	デジタル受信機を用いた赤道大気レーダー多チャンネル受信システムの開発
C73	G22	橋口浩之	京大RISH	EAR観測所におけるGNSS-PWV/TECの観測
D74	G42	大塚雄一	名大宇地研	インドネシアにおける電離圏沿磁力線不規則構造のレーダー観測
D75	G11	齋藤享	ENRI	プラズマバブルに伴う電離圏全電子数空間勾配の特性及び衛星航法のためのレーダーによるプラズマバブル監視手法の研究
D76	G16	Hozumi Kornyanat	NICT	東南アジアにおける地上観測網を用いたプラズマバブルの観測
D77	G23	山本衛	京大RISH	衛星ビーコン観測とEARによる赤道スプレッドF現象の観測研究
E78	G33	橋口浩之	京大RISH	MUレーダー位相校正システムの開発
AD79	D03	重尚一	京大理	層状性降水過程に関する研究
BD80	D04	高崎宏之	京大宇宙	MUレーダーデータ活用による低軌道デブリと人工衛星を用いた予測モデル開発
CD81	D05	Marzuki	Andalas U.	Variability of rain drop size distribution at Kototabang and Sicincin
CD82	D06	Marzuki	Andalas U.	Variability of Tropospheric Wind and Cloud Layer at Kototabang for each Madden Julian Oscillation phase
BD83	D01	高見友幸	大阪電通大	電離圏IS観測データを用いたビッグデータ処理とデータ可視化
CD84	D02	Findy Renggono	BPPT	Study on drop size distributions based on Equatorial Atmosphere Radar observations

受付番号 CXX: 2022-RISH-MU/EAR-Campaign-000XX  
GXX: 2022-RISH-MU/EAR-General-000XX  
DXX: 2022-RISH-MU/EAR-Database-000XX